

レゾルシン製造設備の増強について

住友化学は、このたび、当社の精密化学部門の主力製品であるレゾルシンについて、事業の強化・拡充と、顧客への安定供給を果たすため、大分工場内に製造設備を新設することといたしました。

レゾルシンは、ゴム用接着剤、木材用接着剤、難燃剤、紫外線吸収剤、医薬、農薬、機能性樹脂、機能性色素など各種化学品の原料として幅広く利用されています。特に、自動車タイヤにおけるゴムと補強材との接着剤用途が多く、自動車の生産量増加を背景として、中国をはじめとするアジア地区を中心に、今後もグローバルな需要の増加が見込まれています。

住友化学のレゾルシン製造技術は、独自に開発したハイドロパーオキサイド法と呼ばれる製法で、他の製法と異なり大量の副生塩が発生しないため、環境処理負担の少ないコスト競争力に優れたプロセスです。当社は、1981年に千葉工場内で同プロセスによる製造を開始して以来、順次能力を増強してまいりました。現在は、世界でもトップクラスの年間2万トンの生産能力を有するに至り、これまで構築してきた販売ネットワークを活用してグローバルに事業を展開しています。

今後も引き続きレゾルシン需要の増加が見込まれる中で、分散立地による安定供給体制の構築を念頭に置いて検討し、既存のインフラが活用でき主原料の確保が容易である大分工場内に、年間1万トンの製造設備を新設することとしたものです。今回の新設により、住友化学は、合計で世界最大である年間3万トンの生産能力を持つと同時に、2つの生産拠点を有する唯一のレゾルシンメーカーとして、増加する需要に的確に対応し、安定的にレゾルシンを供給してまいります。

住友化学は、引き続き、精密化学部門の重点事業であるレゾルシンについて、安定供給体制の維持・強化に努めるとともに、グローバルな販売網を活用し、市場のニーズを適切に把握することで、顧客との良好な関係を一層発展させ、強固な収益基盤の確保と事業拡大を進めていく考えです。

【新設する製造設備の概要】

1. 設置場所： 住友化学 大分工場内(大分県大分市)
2. 能力： 10,000トン/年
3. 完成時期： 2010年2月(予定)

以 上